大いに語る

新春に語る

農工一体の産業都市に……市長

西日本一の田園都市を目ざして、過去四年間努力されてきました金堂市政の評価を問うた、昨年末の市長選で、四代目の市長として再びむこう四年間、首長として活躍される金堂市長と、お互の立場を尊重し合って、市政を推進しようという松木議長に、その抱負を大いに語ってもらいました。

市民の望む道路行政……議長

再び市長に選らばれましたが、市長の今後の抱負といったものから……

市長　多くの市民の支持を受けて再び市長に選らばれましたが、こんごはれい南総合開発を骨子として市政に取り組んでゆきます。

これからの行政は、川から川までの広域行政（七市町村）を柱にしてゆくべきで、しかし、高知市はすでに老朽老令化していて、都市の再開発の時期にあり、若い南国市は立地条件からいっても新開発のリーダーシップにならなくてはなりません。将来、新都市計画と農村振興計画のライン、決定などにあわせて、農工一体の産業都市への発展を考えています。

企業の導入にあたっては、田園都市の姿を失わないように土地と水の豊富な資源活用をはかると共に、この豊な資源を安売りしないようにすると共に公害のない市民生活に密着したものを誘致してゆきます。

市の大半を占める山地開発や農林道の整備をすすめるなど、過そ対策に力を入れ、また、産業の過そ化を防ぜず施策を推進してゆきます。

十一億円の市予算の三分の一をその六分の一が約占める民生費、その六分の一が約七百世帯の生活保護費になっています。低所得者層に対する勤労の場の開発と自立更生をすすめます。また社行政の適正化に努めます。また ことし、四月に希望の家ができ、きる予定です。

ことし秋には清風会の特別養護老人ホームができる予定です。

これからの人材を育てる教育施設や附属設備を充実し、教育の効果の向上をはかり社会教育とくに青少年教育に力をそそぎ市民図書館、市民運動公園なども計画しています。

議長　市長選では保守、革新の議員多数が時代に即した市政のできる現市長の右にでるものはないと考え、推せんしてきましたが、こんごの市政の執行については、執行権と議決権の両輪の本質を守り、お互の立場を尊重しあって、市政に取り組んでゆきます。

議長　市民の待ちのぞんでいるものは終末処理です。しかもし尿処理のために年間千二百万円の市費がむなしく消えています。これを他の公共事業にあてると少なくとも五千万円ほどの事業が可能であることを考えれば、大きな損失といえます。また、浜改田地区におけるゴミ処理場や後免町周辺など人家の密集地帯を流れる河川へのゴミの不法投棄など、住民の日常社会における苦情があいつぐなかで、一番多くきかされます。

また新都市計画法による都計と振興地域のライン引きは慎重に行なうべきです。

市長　し尿、じん芥など終末処理の問題は、それぞれ見通しがたっています。

し尿は深淵のし処処理場へ新な施設を併設し、香長し尿組合へ加入する話がようやくにつまってきています。

一方ゴミ処理については、香南五か町村との共同処理の方式を考えており、本年度中に赤岡町と吉川村の境に用地を確保し、明年度完成をめざしての話しがすすめられています。

新都市計画法の線引きはできる限りのばすように陳情もし、住民の声、住民の意向を十分汲んで決定するように、もってゆきます。

議長　道路の整備ぐらい市民が関心をもっているものはありません。

市内を通じている国道は、バイパスを含めて四本で、すべてほ装されています。

県道の十八本や八百七本の市道は、年々順次拡張、ほ装工事がすすめられていますが、ほ装率はわずか七割で、十三路が改良されている程度であってまだまだこれからというところで、市民は道路のほ装をもっとも望んでいるようです。

市は年々単独事業（市単）と失対事業で改良工事をすすめ、ことしは八百万円の市単で、二十六か所、百五十万円の失対事業で、十二か所のほ装、生活道として別に県が七か所の改良工事が行なわれていますが、道路行政は末端の過そ、中央の過密の問題とも関連しており、真剣に考えるべきものだといえます。

市長　道路は顔であるといわれるものですが、なにせ延長百十五里という市道で、公平に期すためあちこちとばらまいてやっているので目に見えないかも知れませんが、市単や失対事業はもとより、県の農免道、生活道などできる限りの活用をはかり、改良工事の進ちょくにあたっています。

ことしから重点施策の一つとして、ほ装、拡張をすすめ、農林道橋りょうにまで及ぼしてゆきます。

市長 議長 新春を語る

新春に語る

公害に力を入れてきたようですが…

市長　稲生地区の公害は、企業が合同し、国の融資をうけて、四億五千万円の新施設をつくる方向にむかっています。これもいまのままでは企業能力があがらず、企業そのものの存在が懸念される社会情勢にあって、なんらかの改善をよぎなくされるときがせまっており、それが公害問題で早まったものといえます。

市長　こんご市の実施する事業については、これまでのようなやり方でなく、現在作成中の振興計画によって、市民が安心できるように計画的に順位をおって実施してゆきます。

同和対策特別措置法の十年の時限立法を生かした建設計画のうち、建設課で立案した十七億円（主として道路工事）にのぼる計画が、同和対策審議会が審議され、現在、住民に対して協力を求めていますが、小田原評定にならないよう協力を願い、全国にさきがけ、思い切った気持ちで実施してゆきます。

家の立ち退き、耕地の市街化などで、個人の犠牲にならないようプラスになるように考えますが、いまは住民の声をききその答えまちでありますが、前浜については計画通りに推進されそうです。

この計画では、国道を延長してそれに幹線を引き、また坂折山の陵線に十二尺幅の道をつけ、山上を開発し、母子福祉センターや生活センター、授産所といったような公共施設を建設したいと考えています。

議長　同和対策事業といえば、一般的にまたかと考えられ勝ちですが、こんどの時限立法によって、一挙に解決をはからうということで、その経費の九割を国が負担し、残りの一割は特別交付税で地方公共団体にみかえりをするので、一般財源はいらないということになっています。しかし、これまでの例からみても、査定される単価によって、その超過分を負担しなければならないということに問題があります。

これまでの同和対策事業によって、その周辺地区の改善もされており、こんご実施される計画でも周辺にまで及ぶことになると思われます。

都築紡績の用地費はどのようになっていますか…

市長　都築紡績は県の誘致条例の適用を受け、用地買収などに要した経費は、会社負担を除いて県の開発財団から出してもらっていて、一般の市費からは出してはいません。

借り入れ金の償還については一応十五年間ということになっていますが、据え置き期間も長く、相当長期に、しかも徴収する固定資産税の二、三百万円は一般財源財源に組み入れながら、手数料実費程度の利子で償還してゆくことのできるように知事と話し合いをしています。

議長　用地の取得につかった経費は、その目的のために融資されたもので、他の事業をやるために、財団から出してくれるものではありません、将来は市にプラスになる面が多くなります。

ほかに工場の誘致を考えていますか…

市長　ミロクの木社、工場の建設も決まっており、太陽のあるをモットーに、工場誘致については慎重を期してゆきます。現在は申し込みが多くことわるのに困るような状態にあります。

観光協会ができるということですが…

市長　観光といっても景勝地は少ないので、産業観光（二期作、ハウス園芸、農機具など）を主体に国府などの史蹟を組みあわせて考えてゆくべきでしょう。

また、南国おどりを年中行事の一つにして農機具祭など、南国市に人のあつまることを考えてみるべきだと思っています。

議長　暗いニュースばかりだった南国市も十周年を契機として将来に明るい希望をもたらせました。こんごみかんまつり、園芸まつりなど、希望のある催しものを年中行事としてゆくこともよいことです。

ことし始め、議員の出欠表を議員さんにくばりましたが、そのごの出欠はどうですか。

議長　議員の議会への出席は大変よくなり、これまでのように定数を割るといった心配はなくなりました。

議員は議場で発言し、採決に参加することが使命であることを考えれば、当然出席しの本分を尽すべきです。

寝る前にも
火の用心